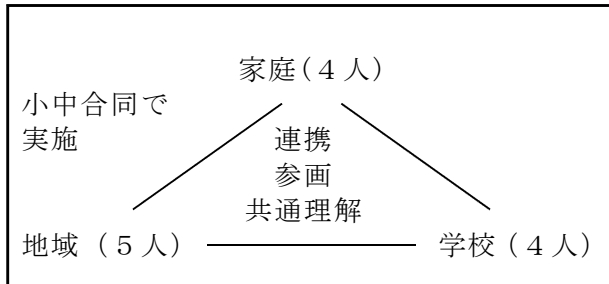


# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市国見中学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

- ・ 1回目 6月18日(火) 小中合同
- ・ 2回目 11月20日(水) 単独
- ・ 3回目 2月27日(木) 小中合同

#### <協議内容>

- ・ スクールプラン、年間行事
- ・ 学力調査の結果
- ・ 学校評価の結果
- ・ 次年度の取組

家庭：小中PTA会長、小中PTA母親代表

学校：小中 校長、教頭

地域：家庭・地域・学校協議会委員

公民館長、自治会連合会長、社会福祉協議会長、青少年育成会長、保育園長

地域コーディネーター (3名)

公民館長、公民館主事、自治会連合会長

### (3) 協議会における成果と課題

本校が設置する家庭・地域・学校協議会のメンバーは、各行事を小・中学校が協働して行うことが多いことから、地域の代表者を同一にしており、情報の共有が効率よく行われている。一方で、前年踏襲の部分も多く、今後は、取組の見直しも含めた協議を積極的に行っていきたいと考える。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域の町おこし活動、国見地区の魅力を県内外へ紹介、国見地区の伝統文化の継承、地域の方々との交流などを通して、郷土に愛着をもち、地域の担い手として活動する生徒を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ① 来て見て国見フェアへの参画

国見地区では、毎年、地域の町おこしイベントである「来て見て国見フェア」が行われており、地区内外から多くの人を訪れる。本校では、毎年、当該イベントに参画し、国見地区のPRや学習発表等を行うなど、地域の活性化の一役を担っている。

今年度の取組は、ステージ発表で国見地区に関する物知りクイズを行ったり、全校による合唱を披露したりした。また、会場内のゴミを拾うなど、環境美化活動にも取り組んだ。



#### ② 総合的な学習の時間の取組

本校では、総合的な学習の時間を中心に、地域と密接に関わる学習に取り組んでいる。今年度は、1～3年生で縦割りのグループを作り、「環境・防災」「福祉」「観光」の3つのテーマに分かれて活動を行った。「環境・防災」グループでは、ツナ缶ランプ、キッチンペーパーマスク、新聞スリッパなど災害時に役立つグッズを作成したり、地域の危険箇所を調査したりするなど、防災意識の高揚に努めた。「福祉」グループでは、福祉施設の工夫や仕事の内容を調べたり、高齢者疑似体験を行ったり、高齢者福祉の理解を深めた。「観光」グループでは、ホームページ上の国見マップを更新したり、国見地区の郷土料理"うずむ飯"に挑戦したり、郷土理解と愛着を深めた。



これらの学習の成果は、地区内外のイベントで紹介したり、校内文化祭で発表したりするなど、国見地区のPRとともに、多くの人に伝えることができた。

### ③ シルバー喫茶店訪問

国見中学校区には、社会福祉協議会が運営するシルバー喫茶（自治会型デーホーム）があり、高齢者の憩いの場所となっている。本校では、地域の一員としての自覚を高めるために、毎年、総合的な学習の時間の一環として交流活動を実施している。本年度は、5地区ある内の国見地区と鮎川地区のシルバー喫茶に訪問した。

今年度は、総合的な学習の時間に活動する福祉班が中心となって、全校生徒による訪問計画を考えた。訪問当日の主な活動内容は、次のとおりである。

- ・国見中学校のゆるキャラ"波の助"と"波の華子"の紹介（着ぐるみを着て登場）
- ・高齢者でも楽しめるように考えた新聞ゲームと福笑いゲーム
- ・家族や屋号の話をしたり、校歌を一緒に歌ったりするなど交流の時間 等

生徒たちは、シルバー喫茶に訪れた高齢者の方々と関わる中で、自然に目線を合わせて話をしたり、どのくらいの速さで話すかと伝わりやすいかを考えたりすることができた。また、将来、福祉系の仕事を志す生徒も多く、貴重な体験の場となっている。地域の高齢者の方々にとっても、毎回、中学生の訪問を楽しみにしてくれており、今後とも地域の高齢者の方々の生きがいの一助となるよう取組を継続していきたい。



### ④ 和楽器演奏会 at ハピテラス

生徒たちは、3年間を通して音楽の授業で和楽器を学んでおり、1年生は箏、2年生は三味線、3年生は和太鼓に取り組んでいる。それぞれに市内在住のゲストティーチャーをお呼びして、専門的な指導を受けている。特に、三味線については、国内外で活躍されている国見地区在住の野村深山氏に指導をお願いしている。使用している楽器も、野村氏が自ら作成した檜三味線を使用しており、独特な音色を奏でるものである。

学習の成果を発表する場として、3年前から福井駅前のハピテラスで和楽器演奏会を実施している。各学年の演奏を披露するだけでなく、演奏の合間に、国見地区の魅力を紹介したり、国見中学校のゆるキャラ"波の助"と"波の華子"の着ぐるみを使った国見地区に関するクイズショーを行ったりしている。また、演奏を聴いていただいた方々や福井駅前を行き交う方々に、生徒自らが作成した国見地区の魅力伝えるパンフレットやポケットティッシュを配るなど、国見地区の魅力伝える活動を積極的に行った。



### (3) 特に工夫した事項

- ・地域の中でも知名度が高まってきている、ゆるキャラ"波の助"と"波の華子"を国見地区をPRする様々な活動場面で活用した。
- ・地域と進める体験的な学習を総合的な学習の時間に位置づけ、系統的に取り組んだ。

## 2 地域コーディネーターについて

### (1) 地域コーディネーター（3名）

公民館館長、公民館主事、地区自治連合会長

### (2) 地域コーディネーターの活動概要

公民館館長：地域で行われる諸活動について情報を提供

公民館主事：地域行事の立案と学校との連絡調整

地区自治連合会会長：地域との連絡調整

## 3 成果と課題

地域と関わる学習を通して、郷土への愛着や誇りが育まれている。学習の成果を発表する場が校内外にあり、多くの方々から評価されることで、やりがいを感じるとともに、将来の地域を担う一員としての自覚を高めたり、生き方を考えたりする機会ともなっている。一方で、限られた時間数の中で、単年度ごとの活動では、活動内容に限界がある。今後は、複数年度で継続して取り組めるような活動を考えたり、地域や外部機関、外部人材と連携を含めた体制を工夫したりするなど、活動の充実を図っていききたいと考える。